

広報たまな特別号

たまなし 宅配笑顔 便♡

2025

CONTENTS

電子版は
コチラ



P02-03 【特集】玉名市合併20周年

【年表】【ピックアップ記事】

P04-05 市民生活の安定

【安心子育て環境づくり】【みんなの生活を守る福祉のまちづくり】
【みんな安心健康づくり】

P06-08 まちづくりの充実

【魅力ある産業づくり】【オンリー玉名!のまちづくり】【機能的な都市基盤づくり】

P09-11 行政運営の進化

【市民のための行財政運営】【地域内連携の強化】



合併20周年!

2005

2010

2015

2020

2025

令和7年10月3日に、1市3町(旧玉名市、岱明町、横島町、天水町)が合併して20年を迎えます。そこで、主な出来事を年表にまとめ、新玉名市の20年を振り返ります。

- 平成17年(2005年)10月3日
・「旧玉名市」「岱明町」「横島町」「天水町」が合併、新市名称：**玉名市**
- 平成18年(2006年)
・草枕交流館開館
- 平成19年(2007年)
・合併後初の市民栄誉賞：前田智徳さん(元プロ野球選手)
- 平成20年(2008年)
・都市計画道路立願寺南岩原線開通(立願寺—岩崎間)
・第63回熊本県民体育祭玉名大会開催
- 平成21年(2009年)
・音楽イベントマスコット(現玉名市マスコット)タマにゃん誕生



HEROIC TAMA
タマにゃん

- 平成22年(2010年)
・旧玉名千拓施設が国の重要文化財に指定
- 平成23年(2011年)
・玉名バイパス全線開通
・九州新幹線鹿児島ルート全線開通
・ねんりんピック2011(ふれ愛)熊本開催(マラソン・将棋)
- 平成24年(2012年)
・全国薬草シンポジウム開催



玉名バイパス開通式



全国薬草シンポジウム2012

- 平成27年(2015年)
・市役所新庁舎で業務開始
・合併10周年記念式典開催



合併10周年式典

- 平成28年(2016年)
・熊本地震発生、玉名市で最大震度6弱を観測
・玉名圏域定住自立圏形成協定締結

- 平成29年(2017年)
・菊池川流域日本遺産認定

- 平成30年(2018年)
・天水市民センター開館
・玉陵小学校開校

- 平成31年/令和元年(2019年)
・玉名市名誉市民の金栗四三さんが主人公の一人となった大河ドラマ「いだてん」放送



金栗四三(三ツ川五輪入場)

- 令和2年(2020年)
・新型コロナウイルス感染症が流行、経済や生活に世界規模で影響
・玉名市民会館ホール棟開館



岱明市立線開通式

- 令和3年(2021年)
・くまもと県北病院開院
・都市計画道路岱明玉名線全線開通
・東京オリンピック聖火リレーが玉名を通過



聖火リレー

- 令和4年(2022年)
・岱明防災コミュニティセンター開館

- 令和5年(2023年)
・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行
・三ツ川産業団地分譲開始
・熊本連携中枢都市圏形成連携協定締結
・第1回玉名いだてんマラソン開催



玉名いだてんマラソン

- 令和6年(2024年)
・JASM開業(TSMC子会社)、県下で関連企業の進出相次ぐ

これからの玉名市について

～合併から20年経ち、これからどのような市にしたいか～

市政に対する市民の皆さんのご理解、ご協力により、1市3町の合併から20年を迎えます。

日本全国が人口減少社会に突入している中で、玉名市も同様に人口減少が続いており、自然増(出生数増や死亡数減)による市内の人口増加は非常に厳しい状況となっています。しかしながら、移住・定住促進や積極的な企業誘致による雇用の創出により、人口減少が緩やかになっていることは、官民連携の取り組みによる成果であると思います。

これから更に魅力的な玉名市となるために、令和7年3月に策定した「まちなか未来図」を核に、市全体を活性化させ、玉名に住みたい、住み続けたいと思われるようなまちづくりに取り組んでまいります。そのためには、笑顔をつくる10年ビジョンに掲げる施策を着実に進めていき、市民の皆さんや訪れた人が「笑顔」になる玉名市を目指します。

玉名市長 **蔵原 隆浩**



ピックアップ記事

平成28年(2016年) 熊本地震

県の広い範囲に被害をもたらした熊本地震。玉名市でも最大震度6弱を観測し、市内にも甚大な被害が発生しました。この地震の経験から、災害協定の締結やハザードマップ、3Dシミュレーションの作成による防災意識の向上、更に、地域の防災拠点の強化に繋がる岱明防災コミュニティセンターの建設など、市民の生命・財産を守る対策の強化を進めています。



岱明防災コミュニティセンター 外観

平成30年(2018年) 玉陵小学校開校 令和7年(2025年) 大豊小学校開校

少子化や学校施設の老朽化など、学校を取り巻く環境の変化に応じ、学校規模の適正化と合わせて児童・生徒が健やかに学べる環境づくりに取り組んでいます。平成30年には6校(玉名、石賀、梅林、小田、三ツ川、月瀬)を統合し玉陵小学校が、令和7年には2校(大浜、豊水)を統合し大豊小学校が開校しました。



玉陵小学校開校記念式典 大豊小学校開校記念式典

平成31年/令和元年(2019年) いだてん

オリンピックをテーマにした大河ドラマ「いだてん」が放送されました。日本で初めてオリンピックに出場した玉名市名誉市民の金栗四三さんが主人公のひとりに選ばれたことで、「日本マラソンの父」と称される同氏の人物像や功績が広く認知されました。合わせて玉名市の認知度も全国的に広がり、生誕地の和木町と連携した観光振興や大河ドラマ館の開館、金栗氏にまつわる新商品(足袋、くまもっとなんき焼き、43レモネード)の開発など、官民一体となった地域おこしが行われ、令和5年にはフルマラソン(玉名いだてんマラソン)も開催されました。



撮影現場風景(玉名市内)

令和2年(2020年)～令和5年(2023年) 新型コロナウイルス

世界で猛威をふるった新型コロナウイルス。令和5年5月に5類感染症に移行するまで、玉名市では、感染症対策やワクチン接種の対応をはじめ、国の交付金を活用した地域活性化・事業継続支援・経済対策・消費対策・新たな生活様式への対応など様々な施策を実施しました。



ワクチン接種会場

令和6年度・令和7年度の 取組を 紹介します

市民生活の安定

安心子育て環境づくり

子ども医療費窓口無償化



0歳から高校3年生相当年齢までの子どもを対象に、医療費の保険診療に係る一部負担金を助成しています。この取り組みを継続することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。



待機児童数0を継続中

保育施設利用に対する待機児童数0を継続中(基準日:4月1日)です。これからも、保育施設と保育の質を確保し、子どもたちが健やかに育つための環境を整えていきます。家庭の状況に応じて、延長保育、一時預かり保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスを提供しています。



給食費の物価高騰支援

近年の物価高騰の影響により、給食の原材料費も高くなっています。そこで、給食の質を維持しながら園児、児童、生徒の給食費が増額しないよう物価高騰分を公費で支援し、子育て世帯の負担を軽減しています。また、小中学校の給食費無償化についても、国の動向を踏まえながら検討を進めています。



小中学校の 良質な教育環境の確保



安心・安全で良質な教育環境の確保のため、老朽化している岱明中学校の校舎と武道場の建替えを行い、令和7年4月から新校舎で授業を開始しました。天水中学校区では、玉水小学校と小天小学校を統合し、令和9年4月の統合校開校を目指しています。また、築山小学校は、プレハブ校舎の解消や施設の老朽化による建替えなど、今後の事業展開を具体化させるため、施設整備全体配置構想を令和7年度に策定します。



ICT教育の推進



令和6年度からAIロボットを活用したプログラミング体験を全小中学校で実施しています。また、スウェーデンや台湾の児童とのオンライン交流や、全小中学校の普通教室などへの電子黒板の配備、デジタル教科書(指導者版)の導入など、ICT教育の推進を通じて、児童、生徒の学習意欲を高め主体的に取り組むことができる環境づくりを目指しています。



みんなの生活を守る福祉のまちづくり

乗合タクシーの運行

市内4つの地域で乗合タクシー(しおかぜ、いちご、いだてん、おれんじ)を運行しています。買い物や通院、通勤、通学などで幅広い年齢層に利用されており、これからも地域の足の確保に努めます。さらに、バス時刻表や公共交通マップを作成し、公共交通機関の利用促進を図っています。



みんな安心健康づくり

くまもと県北病院の 検査体制を強化



市民の健康増進と生活習慣病の予防のため様々な健診事業を実施しています。また、胃カメラの受検体制を強化しており、より多くの方が利用できるよう体制を整え、病院の機能充実を図っています。



がん患者 QOL向上事業



令和6年11月から、アビアランス(外見)の変化が生じたがん患者の社会参加を応援し療養生活がより良いものになるよう、購入するウィッグや乳房補整具などの購入費用の一部を助成しています。また、令和7年4月からは、介護サービスの支援がない若年がん患者(18歳から40歳未満)に対し、自宅で安心して療養生活を過ごすための在宅介護サービスの利用や料金の一部助成を行っています。



いだてん・いちごマラソン開催!



令和7年2月、「玉名いだてんマラソン2025」(県北唯一のフルマラソン大会)と「第45回横島いちごマラソン大会」を同日開催し、定員の5,050名を大幅に超える約6,000人がエントリーしました。今回の玉名いだてんマラソンでは、日本マラソンの父金栗四三の現役時の格好で10kmを走る新種目「金栗足袋DE走」を新設しました。沿道の応援やコース近隣の住民のご協力により、参加者から高評価をいただき、満足度の高い大会となりました。

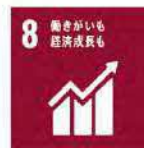


まちづくりの充実

魅力ある産業づくり

玉名の逸品

玉名市が誇る農水産物や加工品を「玉名の逸品」として集約し、市内外へ広くPRすることで地域産業の活性化を図ります。



農業の効率化・高収益化(農地基盤整備)

横島の神崎、富新、明丑地区において農地基盤整備を実施しています。農地を区画整理し、農業用排水施設を整備することで耕作の効率化を図るとともに、高収益作物への転換を支援し、農家の所得向上を目指します。



待望の『玉名産』アサリです！

市内の一部の漁場では、玉名産天然アサリの漁獲量が出荷可能になる量に達しました。地元漁協や漁業関係者の皆さんが試行錯誤を繰り返しながら、資源回復に向けた様々な取り組みを懸命に続けてこられました。その取り組みが実を結び、大粒のアサリが育ちました。



企業の進出・増設

令和6年度以降、新たに4件の企業進出や増設に関する協定を締結し、110名を超える新規雇用が見込まれています。JASM(TSMCの子会社)の第2工場の着工準備も進んでおり、熊本県への企業進出も再度増加することが期待されているため、玉名市も積極的に企業誘致に取り組んでいます。



人・農地プランから地域計画へ

これまで策定してきた「人・農地プラン」を基盤に、将来の地域農業のあり方や農地利用の方向性を示すとともに、大切な農地を将来にわたって子や孫の世代に引き継ぐための「地域計画」を策定しました。



災害に強い農業(耐候性ハウス、BCP策定)

自然災害に備え、事業継続を可能とするため、耐候性ハウスの建設やBCP(事業継続計画)を策定する農家に対して支援を行っています。



産業団地の現状

令和5年度に分譲を開始した三ツ川産業団地は、現在9区画中7区画について分譲・予約をいただいています。官民連携で進めるこの産業団地は、玉名市の新たな活力となることが期待されます。



オンリー玉名!のまちづくり

玉名の消費者と事業者を応援!商品券事業

物価高騰の影響を受ける市内の消費者と事業者を支援するため、プレミアム付商品券を発行しています。商品券の使用期限は、令和7年8月31日までです。



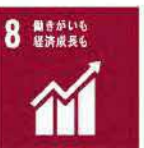
省エネ家電への買い換え推進

消費電力の抑制によるご家庭の光熱費の軽減やエネルギーの効率化、環境負荷の低減を図るため、一定の省エネ基準を満たす冷蔵庫やエアコンへの買い換えに対し補助を行っています。申込期限は、令和7年8月29日までです。



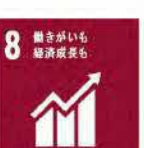
金栗四三マラニックがパワーアップ

令和7年1月に開催された金栗四三マラニック(マラソン×ピクニックの造語)に、スイーツマラニックコースを新設しました。コース上の5店舗で提供されたスイーツを楽しみながらゴールを目指すこの企画は、募集後すぐに定員に達する人気を博し、申し込まれた200名の参加者から好評を得ました。



玉名温泉×eスポーツ=e-Spa TAMANA

玉名温泉とeスポーツを組み合わせたイベント「e-Spa TAMANA」を令和7年3月に開催しました。3回目の開催となる今回は、人気タイトルの「フォートナイト」「eFootball」の勝ち抜き戦や、トッププレイヤーによるレッスンを実施。プレイ後は玉名温泉で疲れを癒すなど、多くの方が楽しめるイベントとなりました。



玉名市国際芸術祭

令和6年7月に、日本台湾文化芸術交流会、玉名国際交流協会、玉名市の共催により「第一回玉名市国際芸術祭」を開催しました。美術と音楽をテーマに、市役所1階市民ロビーで絵画展示会、市民会館大ホールでコンサートを開催しました。令和7年度は、台湾の小中学校5校の生徒による絵画60点の展示とコンサートを玉名市で開催、また台湾でも玉名市内の小学生の絵画13点を展示しました。



機能的な都市基盤づくり

新玉名駅周辺の状況

民間事業者によるアパートや住宅分譲地の開発に加え、駅北側にビジネスホテルの進出が決定しました。今後も住宅や商業施設などの誘導を行い、県北の玄関口にふさわしいまちづくりを進めます。



防災力強化の取り組み (ジャパンレジリエンスアワード)

梅林小学校跡地に工場を建設し、官民連携の地域の防災拠点を整備した株式会社カンケンテクノと玉名市の取り組みが評価され、ジャパンレジリエンスアワード(国土強靱化大賞)の最優秀賞を受賞しました。さらに、市民の災害リスクに対する理解と防災意識の向上を図るため、VRによる災害時の避難シミュレーションプログラムを作成し、防災セミナーの実施や民間との連携による防災マップの構築を行った玉名市の取り組みが評価され、国土強靱化地域計画賞を受賞しました。



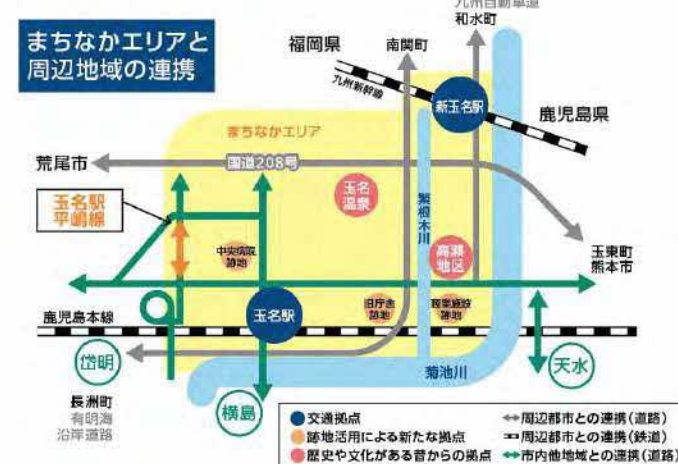
河川防災ステーションの状況

令和9年度に供用開始予定の元玉名地区河川防災ステーションの建設予定地では、令和6年度から盛土工事が始まりました。盛土工事完了後は、発災時に使用する資材置き場やヘリポートの整備と合わせて、水防センターの建設や平常時に市民の皆さんが利用できる多目的広場を整備します。



玉名駅平嶋線暫定整備着手

県道寺田岱明線(旧国道208号)と築地立願寺線を結ぶ都市計画道路の整備に向けて、令和6年度より暫定整備に着手しました。早期開通を目指して取り組みを進めています。



Point! 「まちなか未来図」策定

(在来線)玉名駅周辺や市役所旧庁舎跡地周辺など、都市機能が集積するエリアの将来的なまちづくりを具体化し、その実現を目指す「～玉名市まちなかブランドデザイン～まちなか未来図」を令和7年3月に策定しました。社会実験やアクションプログラム作成など、既に着手している事業もあり、早急な「未来図」の実現を目指しています。



行政運営の進化

市民のための行財政運営

証明書自動交付機利用で 窓口より手数料がお得に

令和6年11月から、利用者の利便性の向上や窓口の混雑緩和を図るため、コンビニなどで利用できる証明書自動交付機の手数料を減額しました。窓口交付より100円～150円お得です。



窓口業務の効率化 (フロントヤード改革)

各種証明書の交付申請や手続き(転入・転出・出生・おくやみなど)について、利用者視点に立った「書かない・待たない・回らない」窓口を実現し、申請書などに記載することなく手続きができるようになる取り組みを進めています。住民サービスの向上を図るとともに、窓口業務の効率化とサービスの平準化を目指します。



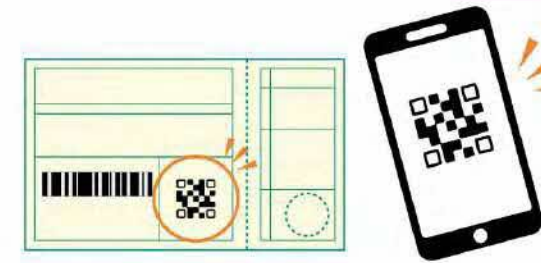
スマホが市役所に (市公式LINE)

市公式LINEには各種予約・申込みや行政手続きの電子申請、税・公共料金などの口座振替日やごみ収集日のお知らせなど、暮らしに役立つ機能が満載。今後も機能拡充を進め、より身近で便利な「持ち運べる市役所」を目指します。



忙しい方にオススメ! 市税等のコンビニ納付・ スマホアプリ決済

市税や水道料金などの公共料金がコンビニやスマホアプリで納付できます。導入以降、多くの方にご利用いただいています。ぜひご活用ください。



ふるさと納税

毎年、多くの方からご寄附を頂いています。魅力ある様々なふるさと納税の返礼品の効果もあり、令和6年度の寄附総額は1,086,849,765円でした。「ふるさと玉名」を応援していただくご厚意に感謝し、「人と自然が輝き、やさしさ笑顔にあふれるまちなか未来図」の実現のため、大切にに使わせていただきます。



道路台帳デジタル化

令和6年度に道路台帳をデジタル化しました。これまで窓口で確認していた市道の名称や幅員などの情報をインターネットで確認できるようになりました。



地域内連携の強化

玉名市魅力発信大使(アンバサダー)



日本台湾文化芸術交流会
名誉会長
リン
林 慧諭さん
台湾からのインバウンドツアーへの参加をきっかけに玉名市と交流が始まる。「台湾と玉名市の交流の力になりたい」との想いから、独自のネットワークを活かし、台湾で玉名市国際芸術祭や玉名市へのインバウンドツアー参加の呼びかけを行う。



日本水神株式会社副社長
ホフ
彭 篠娟さん
台湾に本社を持つ玉名市内の企業として、台湾の企業や自治体と玉名市の架け橋となり、様々なアドバイスをを行う。また、玉名市での国際交流活動も積極的に取り組む。



ランニングアドバイザー
みつか
三津家 貴也さん
横島いちごマラソン大会、玉名いだけんマラソン2025でゲストランナーを務める。市内外のイベントや自身が主催するイベントで玉名市の特産品や観光地などの魅力を発信。



地域おこし協力隊



なかじま けんた
中島 健太さん
「天水地区の活性化」と「産学官連携」をテーマに、天水地区の皆さんや県内の大学と協力して関係人口の増加に取り組む。特産のみかんを活用したアイスやスムージー、焼き菓子の商品化を目指す。



たねがしま なり
種子島 奈里さん
地域の日常や観光資源、活動する人々などに焦点を当てた取材を行い、制作したコンテンツを広報紙や市公式YouTube等で公開。テレビ番組にも出演し、市外へ向けた情報発信に積極的に取り組む。



ますぎ たかひろ
眞杉 尚宏さん
観光業を中心に官民連携の強化を図り、温泉や物産、名所などを玉名市の観光素材として発信。観光地として多くの方に玉名市に足を運んでもらうことで地域活性化を目指す。



地域おこし協力隊

都市地域から玉名市に移住し、地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、地域コミュニティ活動などを行いながら、玉名市への定住・定着を図る取り組みです。

地域活性化起業人



派遣元：日本航空株式会社
いのうえ こういちろう
井上 幸一郎さん
令和4年度から6年度まで、企業でのネットワークや経験を活かした情報発信、物産販路拡大、観光事業者向け接遇研修などで玉名市の地域活性化に取り組む。



派遣元：日本航空株式会社
やの えま
矢野 恵麻さん
令和7年度から3年間、前任の井上さんと連携しながら、取り組みの継続、強化を図るとともに、グランドスタッフを持つ航空業界のネットワークを活用し、玉名市の魅力発信に取り組む。



派遣元：株式会社フューチャー
リンクネットワーク
もりした かえで
森下 楓さん
令和7年6月から、玉名市まちなか未来プロジェクトにおいて、まちなかプラットフォームの運営支援と基盤強化を行う。また、行政・地域の団体・事業者が連携できるよう、コーディネーターを担う。



地域活性化起業人制度

大都市圏に所在する企業との協定に基づいて派遣された社員が、専門的なノウハウや知見を活かして地域課題の解決に取り組んでもらうことで、地域活性化を図るための制度です。

学生・若者の想いをカタチに！ ～玉名未来づくり研究所、玉名未来トーク～

今年で6年目を迎える「玉名未来づくり研究所」では、市内の若者（高校生～29歳）が「理想の玉名の未来」について研究しています。
令和6年度は、13名の高校生と大学生が2グループに分かれて、それぞれ「玉名の魅力再発見」「玉名で知り合いを増やそう」をテーマに実践活動を行い、「蛇ヶ谷公園USJ化計画」や「たまたまこフェス」といったアイデアを提案しました。
また、令和6年12月には、市内の高校や大学の学生が、総合的な探求の時間や研究などについて発表する「玉名未来トーク」を開催しました。参加した学生は、他校の様々な活動や研究に刺激を受けていました。



学びの相乗効果(玉工生のものづくり体験講座)

玉名工業高校の学生が、地域貢献活動の一環としてもものづくり体験講座を開催しました。LEDランタンや光るポストカードなど、電気や機械に関するものづくりを通じて、子ども達の学びを支援しています。





笑顔をつくる 10年ビジョン



「笑顔をつくる
10年ビジョン」の
推進について

「こんな玉名市であってほしい」と願う多くの市民の皆さんの意見や希望をもとに、笑顔があふれる10年後の将来像をまとめた「笑顔をつくる10年ビジョン」を策定しました。変化する社会情勢に対応し、内容を更新しながら施策を実施しています。このビジョンで目指している将来像にどこまで近づいているか、取り組み内容を一部紹介します。

1



学童保育



子育て
支援センター

子育て環境の充実（市民生活の安定）

子育て世帯が安心して子どもを育てられるよう、子ども医療費無償化の対象年齢の拡充(0歳～高校3年生相当年齢)や現物給付化(窓口払い0)、地域の実情に応じた学童保育の拡充、子育て支援センターの充実など、様々な子育て支援施策を実施しました。これからも、子どもの健やかな成長を願い、子育て環境の充実を図ります。



2



企業誘致
企業立地ガイド

官民連携による産業団地の整備、 企業誘致の推進で雇用を創出 （まちづくりの充実）

笑顔をつくる10年ビジョン策定から現在まで、21件の企業進出・増設があり、435名の新規雇用が見込まれています。積極的な地元採用や地域貢献など、地域に根ざした企業として操業されています。



3

自治体DXの推進（行政運営の進化）

市民の利便性向上と職員の事務効率化を図るため、市公式LINEをリニューアルし、電子申請機能を搭載することで、いつでもどこでも利用できる行政サービスの提供を実現しました。キャッシュレス決済、証明書自動交付機、セミセルフレジの設置も進め、ICT技術を活用した効率的な行政運営を推進しました。今後も市民の皆さんにとって、より使いやすく利便性の高い行政サービスの提供に取り組めます。



市税等のコンビニ納付・
スマホアプリ決済



スマホが市役所に
（市公式LINE）



ご意見をお待ち
しています。

市政や広報たまな特別号に関するご意見、ご質問を受け付けています。
ご意見等ございましたら、以下のメールアドレスへメールをいただくか、封書で秘書課宛にお送りください。
いただいたご意見等につきましては、市ホームページ上での回答も検討しています。

※全てのご意見等に回答するものではありません。